

新入生の皆さんへ

教養教育院長 西野 和典



新入生の皆さん、保護者の皆様、入学おめでとうございます。私たち教職員一同、皆様方の入学を心より歓迎いたします。

大学入学後、皆さんにはいろいろな変化が訪れます。新しい場所での新しい生活、自宅からかなりの時間をかけて通学する人もいるでしょう。大学の近くに住んで一人で生活する人も少なくないでしょう。新しい生活環境に慣れるまでは大変でしょうが、自分を成長させる素晴らしい機会と捉えましょう。

住み慣れた地元もよいですが、新しい場所に住むと、新しい発見があるはずですよ。大学の近くを散策するのもよいでしょう。新しい環境の中

に自分を投じ、積極的にかわるこ
とによって、しだいにその環境にも
慣れてくるでしょうし、環境の変化
に対する適応力が身に付いてきます。

主体的・自律的に学ぼう

高校から本学に入学した皆さんは、
学び方も変わります。高校までは、
学校で作られた時間割に沿って一斉
に学びます。しかし、大学では基本
的には自分で時間割を決めて個別に
学んでいきます。低学年時は必修の
科目も多いですが、次第に選択でき
る授業も増えてきます。大学生は、
自分を成長させるために目標を掲げ、
その目標を達成するためにどのよう
な授業科目を履修して学ぶかを自分
で決定します。大学生には、主体的
な学習態度が求められます。また、
高校までのクラス担任のように、
叱ってくれたり逆に励ましてくれた
りする教員はいません。大学生は、
自分の状態を理解して自分をコント
ロールするしかないのです。

このような主体性、自律性は、責
任ある大人として社会へ出ていく前
に、誰もが乗り越えるハードルです。
本学を卒業するまでに、主体性や自
律性を自分のものにしきましょう。

心を開き多様な人たちと関わり

大学では、大半が初めて会う人た
ちの中で学ぶこととなります。これ
までの友人関係も大事にしながら、
大学でもかけがえのない友人をつ
くってください。九州工大には、日
本各地から学生が集まります。日本
だけでなく、世界各国から数多くの
留学生が学びに来ています。した
がって、大学では、自分とは異なる
文化、見方や考え方、経験、能力を
持った多様な人たちの中で学ぶこと
になります。気が合う仲間もよいで
すが、自分とは異なる人たちに心を
開き、コミュニケーションを図る中
で新しい友人関係を築くことができ
ます。

見知らぬ人たちの中で自分を出し
ていくことに、ストレスを感じるこ
ともあるでしょう。しかし、自分に
近い人間関係の中だけで一生を過
ごすことはできません。いずれ社会
に出て多様な人たちと力を合わせて

働くようになるわけで、そのために
は、大学生活でサークル活動や工大
祭等の行事、就業体験や地域社会へ
の貢献等を通じて、自分にはない文
化や能力を持つ人たちと積極的にか
わり、新しい友人関係を築いて
いってください。

自分の世界を広げよう

本学は、グローバルな視点で活躍
できる能力を持った技術者を養成す
るGCE (Global Competency for
Engineer) 教育を推進しています。
中でも、特に、多様な文化の受容や
英語でのコミュニケーション力の育
成に力を入れています。

人文社会系科目では、皆さんが現
代社会を生きるために必要な知識や
考え方を学ぶことができるように、
社会学、経済学、法学などの科目を
開講するとともに、異文化コミュニ
ケーション論や国際関係論等のGCE
を養成するグローバル教養科目を
数多く開講しています。皆さんがこ
れらを学び、グローバルな視野で大
学生活を送り、社会に出て活躍する
ことを期待しています。